

## SUP POLO Japan Games Rules



### ◆ チーム

3 人1 チーム+控え選手2 人 計5人 (最大)

\*控え選手がいなくても良い

\*それぞれのチームは前後半で1 回選手交代が可能.

### ◆使用する道具

SUP POLO ボードx6

SUP POLO パドルx6

SUP POLO ボールx 1

ゴールx2 (長さ3m 、高さ0.9m)

SUP POLO フィールド20mx25m

### ◆ 試合時間

各大会によりアレンジ可能

5分ハーフ

3分ハーフ

同点の場合はその時のハーフタイム分の時間を延長

延長戦でも同点、の場合は

サドンデス方式 先に点を入れたほうが勝ち

その他に

ペナルティーショット

それぞれのチームの選手が願番にセンターフィールド中央からゴールにシュートをし、より多くゴールを決めたチームが勝ちとなる。

### ◆ゲームの始め方

フィールド内自陣ゴール側に接するように選手は待機し、スタートの合図とともにセンターに置かれたボールを奪い合いゲームはスタートする。

### ◆基本ルール

○ボールはパドルでのみ扱う。

○手や足、頭を使ってボールを触ったり、動かしてはいけない。

○ボールは選手がボードの上にいる場合のみパドルで扱うことができる。

○膝立ち潜ぎ、水の中にいる時にボールに触ったり、パス、シュートをしてはいけない。

○ゴール前にゴールを専門に守る人(ゴールキーパー) がいてはいけない。

○選手全員がパドルし、攻守のプレイに参加する。

○意図的に他の選手に対してパドルやボードをぶつけてはいけない。

○パス・シュートはパドルを腰以上の高さに上げて行ってはならない。

\*パス・シュートのブロックは、この限りではない

○ボールを持っている選手に対し、ボードをぶついたり、ボールを奪い取りに行ってはいけない。

○レフリーの指示には絶対従う。

○ボールがフィールド外に出たときは、相手側がその場所からプレーを再開、直接シュートを行ってはならない。

#### ◆ファウル(反則行為)

手足でボールをブロックしたり、ボールを動かした場合は、相手チームのボールとなり、その場所から再スタートする。

○相手チームの選手や他選手のボードに飛び乗ったり、足を乗せたりした場合は、相手チームのボードになり、その場所からスタートする。

○選手がパドルを行わずにゴール前にポジショニングし、ゴールキーパーとしてのみプレイした場合は相手チームのボールになる。

○選手が膝立ち漕ぎや水中からパスをしたり、ボールを動かした場合は、相手チームのボールになり、その場所から再スタートする。

#### ◆悪質なファウル

○意図的に他の選手のボードに自分のボードをぶつけた場合は”1分間のペナルティー(フィールド外に待機)を受ける。

○手や足、頭を使ってゴールを守り、相手の得点を防いだ場合はセンターフィールドからのペナルティーショットが相手に与えられる。

○選手がパドルを行わずにゴール前に立ち、ゴールをブロックしてシュートを防いだ場合はペナルティーショットが相手に与えられる。

○ペナルティーショットを行う時には選手全員が、シューターの後ろ(センターフィールドより後ろ)に行き、ボールが放たれてから動き始める。

○選手が3回のペナルティー(1分間X3)を受けた場合は、遡場処分となる。そのチームは残り時間を2人でプレイしなければならない。

○レフリーが反則と思われる場合いつでもファールを宣言できる。

○試合時間は、ファールの度合いに応じてストップすることができる。

○小学生以下の選手が1名出場する場合、その試合1点アドバンテージが与えられる

○ボールを3秒以上パドルにより保持してはいけない